



<施設の概要>  
 所在地: 東京都港区北青山2 1 15  
 管理: 明治神宮外苑テニスクラブ  
 規模: クレーコート21面、室内コート8面

## テニスコート用照明器具“キャドウィン” を採用して質の高い照明環境を実現

Quality illumination is realized by adopting lighting equipment "Cadwin II" specifically designed for tennis court illumination

コート面数29面で全国でも最大規模の  
 会員数3000名の格調高いテニスクラブ  
 A prestigious tennis club with 30 tennis courts, greatest  
 scale in this area with a membership of 3,000

林立する高層ビル群を周囲に望み、都心のオアシスを演出する明治神宮外苑の森。その中に、昭和32年設立の歴史と伝統をもち、多くのテニス愛好家に親しまれてきた明治神宮外苑テニスクラブが、クレーコート21面、室内コート8面、計29面の日本でも最大級の規模で広がりを見せています。約3000人の会員は正会員(土・日と平日会員(月～金))で構成され、それぞれがそのライフスタイルに応じて効率的に余暇を満喫出来る環境が整っています。

利用者のより幅広い施設利用を可能とする23時までの利用時間(12～3月は20時)に対応するため、照明が果たす役割は、施設運営上重要な意味を持ててきます。当施設では、21面のクレーコートを持つ北側屋外部分にテニスコート用照明器具“キャドウィン”を設置し、良好な照明環境の創造を図ってきました。テニスというスポーツの性質として、ボールやお互いの顔を正確に認識出来る環境の必要性から、地表面はもちろん、コート空間の明るさも十分確保出来る照明コンセプトとなっています。球技における照明プランの重要な注意点でもある、プレイ中の利用者にグレアを感じさせることのない配光を考慮した光空間の中に、テニスと過ごす快適な一時がゆっくりと流れていきます。

照度むらを抑え、均整度の確保につとめ、質の高いテニスコート照明の役割を迫及した内容となっています。また、各コートの明るさも、より効率的なランプによるライティングによってアップし、平均照度650lxを得ています。

### 照明コンセプト

Lighting design concept

照度むらを抑え、均整度を確保して、快適にプレイできる照明環境づくり。

外部への光漏れを配慮した器具選定と配置。



夜間照明点灯時(1)  
 Illumination at night(1)



夜間照明点灯時(2)  
 Illumination at night(2)



薄暮照明点灯時  
 Illumination at sun set



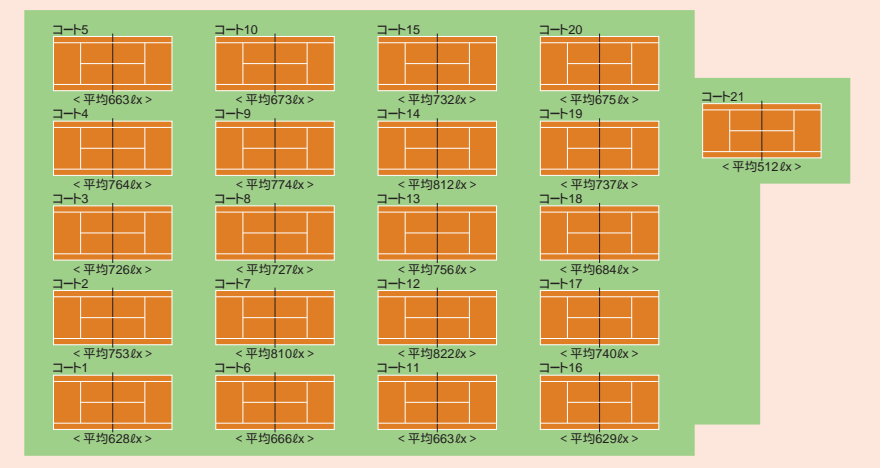
テニスコート昼間景観  
 View of the tennis court during day time



テニスコート用照明器具“キャドウィン”  
 "Cadwin II", designed as a tennis court lighting equipment



### 照度測定結果



### 主要照明器具一覧

器具名	形名	台数	ランプ
テニスコート用照明器具	MT-10026-200H	158	1kW ネオハイドランプ(高効率形メタルハイドランプ)